

令和7年度第3回放送番組審議会

■開催日時

令和8年3月13日（金）16:00～18:00

■開催場所

秋田拠点センターアルヴェ

■出席委員（8名）

放送番組審議委員会会長 景山 陽一
放送番組審議委員 服部 洋之
時田 修
三富 章恵
加藤 光平
小川 顕
伊藤 かすみ
栗原 エミル
(順不同・敬称略)

■事務局出席者

代表取締役社長
取締役兼コーポレート本部長
テクニカルクリエイト本部長
テクニカルクリエイト本部マネージャー
テクニカルクリエイト本部リーダー
(株)TEAM CNA CREATION サブリーダー
コーポレート本部
コーポレート本部
コーポレート本部

末廣 健二
佐々木 祐人
安保 達成
斉藤 洋樹
三浦 明之
中里 仁
佐々木 眞呼
奈良 亜湖
原田 侑奈

■議事 事務局からの報告事項/自主放送番組についてのご意見

■視聴課題番組

番組名
① 「空白」の紙芝居～彼は戦争にどう向き合ったか～ ※令和7年度第1回放送番組審議会で扱った課題番組を再度ブラッシュアップしたものである。
② CNA ドキュメント 15 シリーズ イダマシ～残したい秋田の心～ ＜第8回＞人と犬がいなくなる街で～A ターン夫婦の秋田犬物語～

■ご意見まとめ

- ①は前回に比べ情報が整理され、注釈や補足のナレーションにより、かみ砕いた表現となり格段にクオリティが上がった。
②は展開していくにつれて、少しテーマ性がぼやけた。秋田犬の課題と地方の人口減少との両方を取りあげているので、視聴者にもより分かりやすい形で伝えてあげたほうがよいと感じた。

■放送番組審議委員会からのご意見(詳細)

①「空白」の紙芝居～彼は戦争にどう向き合ったか～

(番組内容)

- ・当時を知る90代の貴重な肉声が組み込まれており、映像資料としての価値が非常に高い。
- ・若い世代へ戦争の記憶を受け継ぐという未来へのメッセージとしても90代の貴重な肉声は効果的であった。
- ・番組として「息子を戦場に送るな」という明確な意思表示がなされていた。
- ・主人公（藤田氏）がなぜ戦時中に国策紙芝居を作るに至ったのか、番組内で答えに行き着くまでの議論やプロセスをもう少し深く掘り下げてほしかった。

(番組構成/制作)

- ・日記の読み上げから登場人物の語りへと徐々に変化していく演出が秀逸であった。
- ・ナビゲーター（西村氏）の視点を通したナレーションにより、客観性を保ちつつも番組の切り口が明確になり、より伝わりやすくなった。
- ・CGやAI技術の使い方、インタビューへのつながりも自然で聞き取りやすかった。

②CNA ドキュメント 15 シリーズ イダマシ～残したい秋田の心～

＜第8回＞人と犬がいなくなる街で～A ターン夫婦の秋田犬物語～

(番組内容)

- ・秋田犬の可愛さや自然の美しさが十分に伝わる内容だった。
- ・テーマの軸が「秋田犬の課題」なのか「移住（A ターン）」なのか、見進めるうちにフォーカスがぼやけてしまった印象がある。

(番組構成/制作)

- ・2023年の過去の映像が残されているなど、時間の経過に伴う変化がしっかり描かれており、CNAが地域資料として貴重なアーカイブを保有している強みを感じさせた。
- ・Aターンを経験した当事者が語る言葉は非常にリアルであり、現地の引きの映像表現なども、彼らがどのような場所で生きているのかが美しく伝わる素晴らしいカメラワークであった。
- ・インタビュー映像において、カメラのピントが合ったり外れたりしている箇所があった点と、画面のアスペクト比との若干のズレがあった点が気になった。